

つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会



vol.21 「大橋校区」の取り組み

今回は「大橋校区」をご紹介します。

令和5年7月、記録的な大雨が降り続けました。被害が大きかった大橋校区は家屋が浸水し、避難所であった大橋小学校周辺も冠水。集まっていたいた大橋校区の6名の皆さんに、当時の様子や今後の課題などを語っていただきました。

大橋校区まちづくり委員会

会長 酒見 隆一さん
さけみ りゅういち

副会長 牛島 雅さん
うしじま まさる

事務局長 中覇 裕一さん
なかつる ゆういち

事務員 古賀 愛子さん
こが あいこ

事務員 山田 美津枝さん
やまだ みつえ

大橋校区社会福祉協議会

会長 末次 博行さん
すえつ ひろゆき

当時の様子について、皆さんそれぞれ感じたこと

● 中覇さん

7月10日未明から激しい雨が降り続き、早朝4時ごろ、市役所から大橋小学校に避難所を開設すると連絡が入りました。

しかし、近くの巨瀬川の水位が上昇し、

9時ごろから小学校にも水が入ってきて床上浸水しました。15時ごろには小学校周辺が冠水し一時孤立。市役所と連絡をとって避難所を耳納市民センターに移すことになりました。小学校には、避難者が10数名いましたが、辺りは水浸しだったので、消防団員の協力のもと避難者にはボートで移動してもらいました。

● 牛島さん

翌日、朝8時ごろ、まちづくり委員会事務局からまちづくり委員会役員に対し、招集連絡がLINEで届きました。辺りの水も引いた後、大橋校区コミュニティセンター（以下「コミセン」）に集まり、被災状況の把握、片付けが始まりました。

● 中覇さん

初めてのことでどうしていいかわからず呆然となりました。校区の被害状況もわからない中、まずはコミセンを立て直し、ここを対策本部にしよう！と動き出しました。コミセンも1階は浸水してしまい、電気関係は全て使えなくなつたので、2階に事務所を移し、本部も2階に構えました。

特に印象的だったエピソード

● 古賀さん

しばらくして、コミセンの片付けを始めましたが善導寺校区など近隣校区のコミセンの事務員さんたちもすぐに集まってくれて、たくさんお手伝いしていただきました。

● 末次さん

改めて近隣校区との連携やコミュニケーションを取ることも大事だと実感しました。

● 中覇さん

ボランティアさんたちの存在は本当に大きかったです。いったいどのように復旧作業を始めてよいかわかりませんでした。すぐに様々なボランティア団体や個人のボランティアなど、多くの人が支援に来てくれました。

● 酒見さん

今回のことで、たくさんの人が手伝いに来てくれたり、物資の支援をしてくださったり、人と人のつながりを感じることができました。とてもありがたかったです。

● 古賀さん

飲食店の人がお弁当を差し入れてくださったりもしましたね。



大橋小学校から見た被災直後の様子

● 酒見さん

地域全体で連携をとりながら、地域みんなで乗り越えている気持ちです。例えば、大橋保育園も被災しましたが、近隣の公民館が園児たちを受け入れてくれています。まわりに助けられていると感じます。

● 山田さん

一方で、初めて会うボランティアさんに対して、不安を感じた人もいたようです。平常時からコミュニケーションを取ることが大事だと感じました。

被災後の動き、 これからのこと

● 中霧さん

大雨の時は小学校、台風の時はコミセンが指定避難所になっていました。が、今回はその両方が被害に遭ってしまいました。ありがたいことに、竹野校区から、同校区内にある「ゆうかり学園」を避難所にしたかと提案があり、災害時には避難所を共同運営することになりました。ただやはり、大橋校区内に避難所があつてほしい…大きな課題です。

● 牛島さん

11月現在、復旧していない家屋もあります。この水害がきっかけで大橋校区から引越した人もいます。やっと少しづつ落ち着いてきた感じもしますが、今でも定期的に住民の

皆さんに声掛けをしまわっています。最初は知らない人だから、と警戒されていた人もすっかり顔なじみになって、様子を見に行くのが大歓迎してくれ

ます。皆さんの不安が少しでも解消されることを願います。

● 山田さん

防災訓練など校区全体で防災への取り組みを強化していきたいです。今回、電気も電話も使えない状態で、LINEがすぐ役に立ちました。LINEを使っていない人もいらっしやるので、非常時に活用できる別のツールがないかと検討しています。

● 酒見さん

以前は、小学校と合同で防災をテーマにした学習会等も行っていました。が、ここ数年は開催ができていませんでした。校区全体で災害に対する意識を高めるためにも、今後は積極的に開催を検討していきたいと思っています。

● 古賀さん

まちづくり委員会主催でイベント「大橋がんばろうフェスタ」を行いました。カレーなど食事の提供、弁護士や建築士など専門家を呼んだ相談会、子どもたちが楽しめるゲーム、マルシェ、物資配布などを行い、多くの人で賑わいました。他にも住民自らイベントを立ち上げて焼肉がふるまわれたり、校区外の飲食店さんが炊き出しにきてくれたりもしました。水害が起きてしばらくは先が見えない状態でしたが、大橋校区

はみんな元気です。

● 中霧さん

今回、初めて被災してわかること、感じたことがたくさんでした。人の優しさ、つながりの大事さが一番だったと思います。取り残される人がいないように、声かけ・訪問は継続して力を入れていきます。大橋校区は地域みんなで乗り越え、前向きに動いています。



大橋がんばろうフェスタでの1コマ

取材を終えて

居合わせた人も含め、6人という初の大人数での取材。皆さんの仲の良さ、絆の強さを感じる取材でした。取材会場であつた大橋校区コミュニティセンター、まだ1階は被害の爪痕が大きく残っていました。今回の災害で

見えた大橋校区の課題は、決して人ごとではなく、災害時の教訓として一人一人の意識の大切さを改めて考えさせられました。

- いち早くコミセン内に対策本部を立ち上げ、様々なボランティア団体や協力者・企業、行政と連携を取る
- いざというときの協力体制
- 普段から地域住民同士でコミュニケーションをとる
- 非常時の連絡ツールの検討



牛島 雅さん 末次 博行さん 酒見 隆一さん 中霧 裕一さん
山田 美津枝さん 古賀 愛子さん

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34
TEL: 0942-34-3035
FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net
HP: <http://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト

[note——つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!



つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中